

当社は、温室効果ガス排出削減の長期目標としてグループ全体のCO₂排出量を、2030年度で63%、2050年度で100%削減（基準年：2015年度）することとしています。

この目標は、気候変動問題の国際的機関であるSBT (Science Based Targets) イニシアチブから、「1.5℃レベル」の認定を受けており、その達成に向け、省エネ活動をグローバルに推進するとともに、各生産拠点における高効率な設備の導入、最新の環境技術を活かした工場建屋の新築・建て替え等を計画しております。

本事業では、新規設備の導入及び太陽光パネルの導入によりCO₂排出量を削減し炭素生産性の向上を目指します。

1. 事業適応計画の実施期間

2023年9月～2025年12月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を66,141%向上することを目標とします。
※新設の浜松工場の炭素生産性を、基準年度の当社全体の炭素生産性と比較しています。

3. 前向きな取組の内容

新設の浜松工場では、独自の革新的加工設備とロボット、デジタル、AIを活用した無人生産設備の導入により、従来と比較してCO₂排出量の増加を抑制しつつ生産性の向上を目指します。また太陽光パネルを導入し、自家消費することで、CO₂排出量を削減し炭素生産性の向上も実現します。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

＜対象設備や設置場所などの画像＞

新設浜松工場：太陽光発電設備

